

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団補助金 (市民スケート場運営事業補助金)	開始 年度	平成2年度
----------------	--	----------	-------

団体名	公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団
-----	-----------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則
-------------------------	-------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	天候に左右されないパイピング式スケートリンクを競輪場内に開設し、市民や競技団体にスケート競技を実施する場を提供している。
目 的	(目 的) 当該事業の補助により、道南唯一のスケート場を開設することで、市民の冬期間の運動不足解消と冬季スポーツの普及および生涯スポーツの振興を図る。
・ 効果	(効 果) 道南唯一のスケート場の開設により、スケート競技の普及・振興、競技人口の拡大、競技力の向上等を図ることができるとともに、冬季スポーツの振興および市民の健康増進などに寄与している。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収	23	56,389		10,933				67,322
	24	53,200		7,804				61,004
	25	52,668		7,016				59,684
入	26	63,818		7,597			2	71,417
	27	61,527		7,346			1	68,874
支	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	23			67,322				67,322
出	24			61,004				61,004
	25			59,684				59,684
	26			71,417				71,417
	27			68,874				68,874

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団補助金 (市民スケート場運営事業補助金)
----------------	--

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性（明確な公益性があるか） ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子どもから大人まで気軽に楽しむことができる市民ニーズが高い事業であり、余暇の運動不足解消をはじめ、アイスホッケーやフィギュアスケートなどの冬季競技の振興にも貢献している。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	道南唯一のスケート場であり、数少ない冬季スポーツ競技の振興に寄与している事業であるため必要である。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施設の性質上、補助金なしでは実施困難な事業であるが、事業収入の確保や経費の見直し等節減に努めている。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	財団が効率的な運営に努めており、補助することが最適であるが、老朽化に伴う設備更新に多額の経費を要するため、事業の継続について検討が必要である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	スケート場の開設にあたっては、市と財団が協議を行い、施設の管理運営等に不足する経費は市が補助することでスタートした事業であり、今後も運営経費の縮減等を要請するなかで補助を継続する必要がある。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	当スケート場は仮設式構造のため、施設の組立・解体にも相当の経費を要するなど、入場料収入だけでは施設運営が困難であり、今後も補助が必要である。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	学校を通じた児童生徒へのチラシ配布や、市・財団広報紙への記事掲載などPRに努めているほか、初心者対象のスケート教室や各種イベントの開催など、利用者増加に努めている。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団補助金 (市民スケート場運営事業補助金)
----------------	--

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
開設日数, 入場者数で効果を測定する。

(達成状況)

事項	開設日数	入場者数
H27年度実績	62日	32,038人 (うち, 無料 19,341人)

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	H27年度においても, 62日間を開設し, 3万人を超える入場者数を得ている。

○今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 冬季のスポーツ振興に大きく寄与していることから, 終期までは現行制度とするが, 施設の老朽化およびフロン冷媒の全廃により現施設が使用不能となるため, あり方について検討を進めている。 (見直しの時期) 平成30年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成30年度		平成30年度